

石鳥谷中学校の建設着工予定

総合計画に位置付け取り組む



菅原康栄 議員

問 市立石鳥谷中学校は築38年が経過し、老朽化が著しい状況である。旧石鳥谷町においては、基本構想と基本設計が完了し、早期建設が望

まれることから、新市における中学校建設計画について伺う。

答(教育長) 石鳥谷中学校の改築計画については、平成18年度に用地取得の必要があり、併せて用排水路の整備や敷地造成を実施する予定である。学校建設は、新市の重

要課題でもあるので、今後、基本構想、基本計画を順次策定することになっていく総合計画に位置付け、整備に取り組みたいと考えている。



老朽化が著しい石鳥谷中学校

少子化の中での子育て支援策

特別保育事業を積極的に導入



小菅裕子 議員

問 少子化を背景に、子育て支援の充実を求める声が高まっている。さらなる保育サービスの充実、保育所の増設、保育料の軽減等を検討すべきと考えるが見解を伺う。

答(保健福祉部長) 定員の改定や延長保育など特別保育事業を導入している。増設は、緊急整備が必要な保育所を中心に、改築整備を行う。保育料は、合併に伴い保護者の負担を軽減するよう設定した。

第三セクターの扱い

問 現行を基本とした財政支援がなされない第三セクターがあるが、その経緯と考えを伺う。

答(政策企画部長) 旧町が財政支援を行い、債務がほぼ解消され自立可能なため、支援を行わない。

地域活性化補助金制度の創設

地域団体を支援する制度を検討



松坂一人 議員

問 地域自治区内で支所長の権限で自由に使える地域活性化補助金制度を創設すべきと考えるが見解を伺う。

答(政策企画部長) 地域団体やボランティア団体、NPOなどの自主的な地域づくり活動を支援する制度や運用方法について、市民の意見を聞いて検討していく。

医療改革への対応

問 医療制度改革や診療報酬改定案により在宅療養者が増加すると思われる。在宅医療制度への考えを伺う。

答(生活環境部長) 在宅医療の診療報酬は、全体として引き下げるが、高齢者が住み慣れた家庭や地域で療養しながら生活できるような診療報酬体系が取られることになる。

コミュニティFMの可能性は

有用性は高いと認識している



名須川晋 議員

問 新市の一体感醸成と地域密着の情報を提供するためFMラジオに大きな期待を持つ。事業主体は民間であるべきだが、官民一体の研究が必要であると思う。開局の可能性と有用性をどう認識するか見解を伺う。

答(市長) コミュニティFMは、市政ニュースや地域・災害情報などに有効な情報発信となり、その有用性は高いものと認識している。開局設立に向けて調査・研究し、可能な限り支援に努める。

協働社会の実現を

問 ボランティアセンター機能整備に対する見解を伺う。

答 ボランティアセンターについては、公共施設を活用し設置していく。

新市総合計画の策定方法

進行管理に重点を置く計画策定



佐藤忠男 議員

問 新市総合計画の策定に当たり、市長のマニフェストをどう取り入れるか。また、計画策定の方法について伺う。

答(市長) マニフェストは可能な限り反映させていきたいと考える。策定方法については、新市建設計画と整合を図ること

農業の課題と振興策

問 新市長の農業に対する基本認識及び新たな経営所得安定対策等への取り組みについて伺う。

答(産業部長) 効率かつ安定的に再生産が可能な農業の確立を目指している。経営所得安定対策等は、各種制度への理解が重要である。

森林づくり県民税への対応

森林整備計画の見直しが必要



関田良一 議員

問 環境に悪影響を及ぼす人工林における間伐の遅れをどのように把握しているか伺う。また、「いわての森林づくり県民税」の実施に対する市の

対応について伺う。答(市長) 市内の多くの民有人工林について、間伐等の森林管理が行き届かない状況にあり、森林資源の持つ多面的機能が損なわれつつある。また、「いわての森林づくり県民税」の実施に伴い、市の森林整備計画の見直しが必要となってくる。

地元企業の育成発展

問 市内における木材活用地元企業の育成発展の考えを伺う。

答(産業部長) 地元企業の育成発展も含めて、総合的な林業振興について、議論を深めていく。



大迫町森林組合による間伐作業